

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念に基づき施設理念を作られている。その施設理念から、部署の目標、個人の目標を立てており、目標管理を実施している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括支援センターが主催するマグカフェを毎月開催されており、そこに家族と一緒に参加したり、グループホームの紹介もして貰っている。もう少しコロナ等の心配もあり、自由外出にならない所もあるが、地域の掃除やあげい祭りの展示に利用者の作品を出品し祭りの見学に出かけたり出来ている。	次年度はどんど祭に参加してみてもとの意見あり。認知症カフェなど地域とのつながりもあり、あまりできていないわけではないのでは。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2か月に1回、運営推進会議を開催し活動報告や事故ヒヤリ、ヒヤリハットについて報告し出された意見等を会議にて発信している。	今後は効果判定や予防策についても報告してみてもとの声あり。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議以外でも、介護保険上の相談や確認など連絡が行えている。	特に問題なくスムーズに出来ている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止・身体拘束適正化委員会を中心に、必須研修として研修を年2回、職員の意識向上、身体拘束とは…を真剣に考えれる様、繰り返し確認をしている。		A. 充分にできている Ⓓ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記と同様の委員会中心に、虐待の芽アンケート年2回、そこから各部署での取り組みを検討しまいつきの部署会議での確認を行い委員会で報告、全体としての検討し、必要な場合、再度研修などに繋げている。		A. 充分にできている Ⓓ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コンプライアンス研修にて権利擁護について学ぶ機会はあるが、制度に対する研修は施設内では実施していない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時、家族に契約書・重要事項説明書をもとに説明を行い、理解納得を図り、契約を交わしている。その際は不安や疑問点がないか確認している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議、顧客満足度アンケート、家族会等から利用者、家族の意見要望、提案を聞く機会を設けており、要望、意見については「福祉サービス苦情解決処理要領」に沿って対応するようになっている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の運営会議、全体会、グループホーム会議にて職員の意見や提案を聞く機会がある。また、一年に一回アンケート実施し、職員の意見要望を次年度事業計画に反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	目標達成度評価表で個々の業務遂行、目標の進捗状況等把握している。敬仁会の諸規定、各手順により給与や研修体制等明確になっている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内外の研修を受ける機会があり、個々の経験年数、希望等に沿って研修が受講できている。年3回の面接では職務基準により能力評価を行い目標についての擦り合わせも行っている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内でのグループホーム部会にて他施設と交流をもち事例検討会や研修、意見交換会等開催し、認知症に対する理解や振り返るよい機会となっている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に役割のある生活を送れるよ う、洗濯たたみ、調理等行い互いに 感謝の言葉を掛け合っている。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染対策にて警報などが出た 場合は、まだ規制を掛けざるを得な い場面もあるが、基本的には家族面 会や馴染みの知人の面会も可能と なり、家族との外出もできるようにな ってきている。	感染状況にもよるが面会や外出等出来 ているのではないかな。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環 境、一日の過ごし方の希望や意向の把 握に努めている。	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族聞き取りや普段の生活、 生活歴からアセスメント(センター方 式使用)を行い、介護計画書に反映 させ支援に努めている。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケア のあり方について、本人、家族、必要 な関係者と話し合い、それぞれの意見や アイデアを反映し、現状に即した介護計 画を作成している	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族聞き取り実施し、チーム でカンファレンス行い、課題の確認と ケア方法について話し合い介護計画 を作成している。毎月のモニタリング よりリスクについても確認事項あり必 要であれば介護計画書変更できるよ うにしている。	家族や本人の意向を反映した計画にな っている。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、職員間で情 報を共有しながら実践や介護計画の見 直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス経過に記入し情報共有して いる。それを元にモニタリング実施、 状態変化あればミニカンファレンスを 行い介護計画書見直しを行っている。 計画に基づいた記録を心掛けて いる。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ るニーズに対応して、既存のサービスに 捉われない、柔軟な支援やサービスの多 機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族、本人に合わせた通院支援 や往診行っている。今年度からは自 費ヘルパーの活用も出来るようにな った。	新規事業や柔軟なサービス展開は他事 業所も難しい様子。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資 源を把握し、本人が心身の力を発揮しな がら安全で豊かな暮らしを楽しむことが できるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者によっては地域住民と関われ るよう包括支援センター主催のマグ カフェに参加し交流できている方もい るが一部のみ。地域の祭りの展示会 に出かけたりと楽しむことができるよ う努めている。	次年度は地区の秋祭りやグランドゴルフ 大会などに参加してみてもは。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の意向を尊重し、かかりつけ医の受診や往診を支援している。病状によっては専門外来の受診について家族と相談しながら進めている。今年度から看護師の体制が変わり、受診に看護師が付き添う事が難しくなり、自費ヘルパー、家人に本人の様子と気になる事等を記載したサマリーを託して受診している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院された際は定期的に地域連携室を通して連絡をとり連携図っている。退院時には退院前カンファレンスの開催を依頼し、医師、病院関係者、家族、グループホームと情報共有し受け入れ体制を整えている。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合の指針を入所時に説明を行い同意を得ている。カンファレンスの際に終末期に向けた意向確認を行っている。状況により医療機関等へ看護師が連携をとっているが、地域関係者との支援までには至っていない。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員全員が救急法の研修を受講している。看護師による急変時の対応等の研修も行っており実践に活かされるよう取り組んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防計画に沿って年二回、日中夜間想定避難訓練行っており、今年度は地域住民の方にも見ていただいた。また地震、水害想定の上訓練行っている。また上井地区と防災協定を交わし避難場所になっており協力体制築いている。	何かあったときはマグノリアが避難場所になっているのでよろしくお願いいたします。	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内研修にて倫理についての研修、虐待の芽チェックリストの実施し、自身や他職員の声かけや対応について確認している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的な生活のスケジュールはあるが、利用者個々の体調やペースに合わせ、希望に沿えるよう食事時間等柔軟に対応し支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在厨房にて食事提供行っているため、調理を行う機会は少ないが盛り付けや、洗い物をしていただく機会をつくっている。食事以外ではおやつ作りで皮むき等の作業していただいている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養士が作成した献立表を基本とし、利用者個々の嗜好に合わせ食事提供している。食事量だけでなく水分量もチェック行い摂取状況把握に努めている。食事、水分とも無理にならないよう勧めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない			Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の排泄パターンを把握し、できる限りトイレでの排泄を支援している。安全に排泄できるよう必要に応じて二人介助で行ったり、希望あれば速やかに対応できるようにしている。失敗を減らせるよう案内の時間を検討し取り組んでいる。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時間が決まっているため、希望になかなか沿えないこともあるが、無理な案内はせず一人一人にあった声かけやタイミングをみて案内行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の体調や生活リズムに合わせて日中は活動できるよう支援し、昼寝等休む時間を設け、夜間安眠できるよう努めている。なかなか寝付けない方はホールで過ごしていただく等本人の希望を聞きながら支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々が使用している薬の最新の薬剤情報をケースに綴り、確認できるようにしている。変更時は看護師にみるみるノートに記入し周知できるようにしている。適宜記録に残し看護師に報告できるようにしている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	十分ではないが、喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴から抹茶をたてて頂いたり、花を生けて頂く等力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等が出来るよう支援をしている。	出来ている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に沿えるよう外出事を計画し出かけたり、近所の公園を散歩してもらい季節感を感じてもらっている。また、感染対策にて家族と外出できなかったが、現在は家族とも外出できている。	出来ている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	所持しておられる利用者の方はおられるが、使えるような支援は出来ていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍にて窓越し面会を行っていたが、現在は居室にて面会できている。電話も活用し会話している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	温度、湿度に気を付けながら換気、エアコン使用しソファでくつろげるように環境設定行っている。季節感のある飾りつけや花を生けたりしている。不用意にテレビをつけたりせず馴染みの音楽を流したりしリラックスできるよう努めている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の意向を把握するため日々の経過記録、アセスメント行い介護計画書に反映し意向に沿った暮らしができるよう取り組んでいる。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前アセスメント、介護計画書見直しカンファレンス時に本人、家族に聞き取り行い情報収集行い計画書に必要時反映し支援できるようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各項目ごとにアセスメント行い課題をみつけ介護計画書に反映し支援を行っている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	習慣を把握し介護計画書に反映し本人のペースで生活できるよう、支援を行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族にも協力を得て馴染みのものを持ってきていただき、安心して過ごしていただけるよう居室内環境を整えている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と外出をしたり、地域の祭り、展示会等に出かけている。また、今年度は家族会にて外出行事を行っている。	来年度はさらに外出などができるのではないか。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人負担にならないよう、できることわかることを把握したうえで、役割やレクリエーションの提供を行っている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関わりを持ち職員とだけでなく他利用者とも会話できるように支援している。また、話ができない利用者が孤立しないよう職員が仲介に入りコミュニケーションをとっている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策にて積極的に行えていないが、家族と出かけたり、マグカフェにて地域の方と関われる機会を提供している。	出来ている。		

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている ㊥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームで役割をもち、やりがいや満足を得られるよう支援している。家族からも良い表情で生活ができていると感じているとの言葉あり。自宅で入浴支援を拒否していた方が入浴できる様になられたりし、家人も喜ばれ、本人に取っても、安心して生活されている様子が伺える。	実施できているのではないか。今後も施設見学等外部との連携を図っていく。	A. 十分にできている ㊥ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
----	----	---	--	--	--	--	--